

- (3)第二次試験**
- ア 試験日・試験会場** 令和7年8月上旬～9月中旬のうち、第一次試験合格発表時に指定する1日に実施予定です。受験区別の日程等の概要は、6月中旬以降に横浜市教育委員会のホームページにてお知らせします。試験会場は全て横浜市内です。
- イ 持ち物** 第一次試験の結果発表時に横浜市教育委員会のホームページにてお知らせします。
- ウ 試験内容**
- (ア)模擬授業 約18分**
- ・当日に提示されるテーマを基に授業の設定検討 5分
 - ・授業実施 10分
 - ・実施した授業に対する質疑応答 3分
- ※養護教諭は模擬授業の代わりに模擬対応(場面指導)を実施します。**
- (イ)個人面接 約30分**
- 面接の中で模擬対応(場面指導)を2分程度実施します(養護教諭を除く)。
- (ウ)論文試験 45分(第一次試験日に実施)**
- ※テーマ及び字数は当日に提示します。

(エ)実技試験(受験区分が中学校・高等学校の音楽・美術・保健体育・英語のみ実施)

受験区分	実技試験の内容
中学校・高等学校	<p>1 自らのピアノ伴奏による歌唱(弾き歌い)</p> <p>◆次の曲の中から任意の一曲を選び演奏する。</p> <p>①「夏の思い出」 江間章子作詞 中田喜直作曲 ②「花」 武島羽衣作詞 滝廉太郎作曲 ③「浜辺の歌」 林古溪作詞 成田為三作曲</p> <p>・伴奏は原曲あるいは教科書によることを原則としていますが、各自の声域に合わせて移調したり、多少の編曲をしたりしてもかまいません。 ・楽譜を見て演奏して結構です。楽譜については受験者が各自で用意してください。</p>
	<p>2 アルト・リコーダーによる演奏(リコーダー演奏)</p> <p>◆次の曲の中から任意の一曲を選び演奏する。</p> <p>①G.Ph.テレマン作曲 ソナタハ長調「忠実な音楽の師」TWV41:C2 第3楽章 Grave ②N.シェドヴィル(伝ヴィヴァルディ)作曲 ソナタ「忠実な羊飼い」 作品13 第3番ト長調 第4楽章 Corrente ③G.F.ヘンデル作曲 ソナタハ長調 作品1-11 HWV369 第4楽章 Allegro</p> <p>・無伴奏とします。 ・楽譜を見て演奏しても結構です。楽譜及びアルト・リコーダーについては受験者が各自で用意してください。</p>
	<p>3 任意の楽器による独奏又は独唱(暗譜による演奏)</p> <p>◆任意の一曲を選び、独奏又は独唱する。</p> <p>・独奏する場合の楽器について、ピアノを選択する場合は、試験会場に設置してあるものを使用します。ピアノ以外を選択する場合は、試験会場に搬入可能な次のものを受験者が各自で用意してください。 【和楽器、管楽器(リコーダーを除く)、弦楽器(ギターや二胡を含む)、打楽器、アコーディオン】</p> <p>・楽器を当日又は事前に試験会場へ、自家用車等で搬入することはできません。 ・2～3分程度の楽曲(楽曲の一部を抜粋してもよい)とします。また、原曲に伴奏のある曲でも、試験は無伴奏で行います。 ・当日使用する楽曲の楽譜を3部持参してください。 ・電子楽器は使用できません。</p> <p>※弾き歌い、リコーダー演奏、暗譜による演奏ともに、時間の関係で途中までの演奏となることがあります。</p>
	<p>美術</p> <p>授業を想定した平面及び立体作品の制作</p> <p>◆平面作品:画用紙等に着色して表現(水彩絵の具、アクリル絵の具等の画材を受験者が各自で用意してください。) ◆立体作品:紙粘土等、与えられた材料を使用して表現</p>
保健体育	<p>◆器械運動:マット運動(マット2枚分の長さで、5つ以上の技で構成し、一往復で演技を実践する。) ◆陸上競技:走り高跳び(約1mのバーに対して、自ら選択した跳び方で実践する。) ◆水 泳:2つの泳法を用いて、往路25m復路25mの計50mを実践する。 ◆球 技:バレーボール(アンダー・オーバーハンドパスを用いて対人パスを約30秒間実践する。) ◆武 道:柔道又は剣道のいずれか1種目を受験申込時に選択 柔道(基本となる技を1つ選択し「受」と「取」を実践する。) 剣道(基本となる技を実践する。)</p> <p>武道以外の各試験は、上記の中から、当日に提示される種目及び泳法を行います。</p> <p>・水泳については、当日に提示される課題(泳法)を行う。 ・運動着や水着、武道で選択した種目の用具一式等の持ち物は、受験者が各自で用意する。 なお、上記の実技内容については、中学校学習指導要領に記載されている技能を主として考える。</p>
英語	<p>プレゼンテーションにおける英語運用能力試験</p> <p>・成人のイングリッシュスピーカーを想定して、当日に提示される課題に対してプレゼンテーションを行う。 なお、採点にあたり、当日のプレゼンテーションを撮影し、録画した内容で行うものとする。</p>